

## 薬学部

### ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

城西大学薬学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、人々の健康な生活を護り、地域や社会の発展に薬学分野の専門家として貢献できる人物を育成します。本学部で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価を行い、学士の学位を授与します。

1. 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
2. 大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
3. 薬学に関する学びにより、社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能を身につけるとともに、思考力・判断力を高め、将来にわたり薬学分野の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

城西大学薬学部は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. 人間形成の過程で必要となる学びを提供するために、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探求する姿勢、人類文化社会へ貢献するための意識を養うという視点で全学共通科目を含む必修科目を学生の段階的な成長を促すように各学年に設定する。その評価は自己評価を基本とし、長期型ルーブリック\*を用いた評価をポートフォリオ\*に蓄積して学生自身による振り返りを促すとともに、教員による学びの促進を意図した形成的評価を随時実施する。

\*長期型ルーブリック：ルーブリックは、学習目標の達成段階を質として表した表で、長期型ルーブリックは、入学から卒業までの成長を継続的に評価するのに有効なツールです。

\*ポートフォリオ：学習成果物を時系列に沿って蓄積していったファイルで、学生の段階的な成長を確認するために有効なツールです。

2. “協創”による社会問題の解決に取り組むために、全学部の学生が協力して課題解決を創造する学内外連携型などの必修科目を各学年に設定する。その評価には、教員による評

価だけでなく、ルーブリックを用いた自己評価・ピア評価など多様な視点を取り入れ、学習の成果物はポートフォリオに蓄積して、自身の振り返りを促す。英語力については、大学共通基本科目において習熟度別のクラス編成を実施して、個人のレベルに合った学習を可能にする。

3. 薬学分野の専門家として求められる高い専門性を獲得するという視点でカリキュラムを策定する。その評価は形成的評価を取り入れ、各科目の特性に合わせて総括的に実施し、GPAを用いて学生に対してフィードバックを行う。具体的には、初年次教育やキャリア教育科目において、学習方法や学生生活の指導に加えて自立した社会人としての意識づけを行い、さらに各学科で設定した実習を含む「必修の専門科目」において各学科で求める専門的な知識・技能の基礎を身につける。そして、それらを人々の健康な生活を護ることに役立てることができるように、「卒業研究」や医療現場での実習を応用的な学びの場として設定する。この他、「選択の専門科目」を設定し、これらの科目を組み合わせて学ぶことにより、より深く、また幅の広い専門性を培う。選択科目の評価は、教員による評価だけでなく、ルーブリックを用いた学生自身による自己評価を取り入れることを基本とする。

#### アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

城西大学薬学部では、自身の発見や自身を大きく成長させるために必要な学びを提供し、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探求する姿勢、人類文化社会へ貢献するための意識を養う教育を行います。そのために以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

##### 求める人物像

1. 多様な事象に興味を持ち、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって学ぶ意思を有する人
2. 他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組む意思を有する人
3. 薬学部における専門的な学びを修め、教養を高める意欲があり、そのために必要な各学科で指定する科目の学習に取り組んでいる人

(2024年4月入学者用)